

令和6年度 学校だより 学校教育目標 自主 責任 明朗



六中だより 4月号



学校の花 マリゴールド
花言葉「健康」

開校45年目

〒352-0023 埼玉県新座市堀之内3-11-1

TEL 048-478-2764 FAX 048-482-0136

HP <http://www.c-niiza.ed.jp/j-dairoku> 全生徒数:698名



「六中生 誰もがみんな 一分の一」

—— 一人一人の生徒を大切にする支援を

校長 影山 葉子

1年生の入学と2、3年生の進級をお祝いするかのよう、校庭の桜は春休みに満開の頃を迎え、これからは若葉が芽吹き出し、ぐんぐんと伸びていくことでしょう。第六中学校の子供たちのように。

斉藤直之校長の後任として、今年度から本校の校長になりました、影山葉子(かげやま ようこ)です。どうぞよろしくお願ひいたします。斉藤校長が目指した「美しく 温かく 常に前進」する学校像を引き継ぎながら、「自主 責任 明朗」という学校教育目標を目指して、教職員と共に六中生の成長を支援していきます。

コロナ明け、とも言われる現在、その前と比べて、教育現場は大きく変貌を遂げました。臨時休校等の対応として、クロムブックが1人1台配付されてオンライン授業が展開されたり、「教職はブラック」と言われるようになり、教員のなり手が激減するようになったことから、教職員の働き方改革として、負担軽減策が講じられました。そのような中、私は子供たちがどこか置き去りにされているような感覚があり、「どうしたらいいのだろう。」と常に考えるようになりました。

学校の主役は子供たちです。その子供たちが学校というステージでそれぞれの個性を大事にしながら、よさを発揮して、もっている力を伸ばしていくことが、私たち教職員の責任です。それを実現させるには、どうし

たらいいか……。答えは自ずと出てきました。「一人一人を大切にする」です。一人一人の生徒を理解し、必要としている支援を行うことです。

六中の生徒は、全校で698人います。しかし、一人の生徒は、「698分の1」ではありません。40人学級の「40分の1」でもありません。その生徒は、世界に一人しかいません。つまり、「一分の一」なのです。そこで、私たち六中教職員は、目の前の子供たちを「誰もがみんな一分の一」として、一丸となって一人一人の生徒を大切にして、教育実践を進めてまいります。また、子供たちはもちろんのこと、保護者と地域の皆様に信頼される学校づくりを目指します。

この1年、保護者、地域の皆様には御理解と御協力、そして御支援のほどをどうぞよろしくお願い申し上げます。

新3年生が活躍！新年度の準備をありがとう

4日の準備登校では、新3年生が新年度に向けて、六中のために、学校中で大活躍しました。どの新3年生も、進んできばきと仕事に取り組んでいました。



教室や廊下、トイレの清掃を隅々まで行ったり、1年生の教科書を丁寧に扱って仕分けをしたりしました。さすが、最上級生、あっという間にすっかり準備が整いました。どうもありがとうございます！